

「原料費調整制度」等による適用ガス料金の調整について
(2024年2月検針分)

武州ガス株式会社は、「原料費調整制度」等に基づき、2024年2月に適用する1㎡当たりの単位料金を、2024年1月検針分に適用の料金に比べ1.63円(消費税込)上方に調整させていただきます。調整は、検針月の5か月前から3か月前まで(中2か月)の3か月平均の原料価格変動額に応じて行うもので、2024年2月検針分の単位料金は、2023年9月から2023年11月の平均原料価格に基づき算出しました。

また、電気・ガス価格激変緩和対策事業の政府支援を踏まえた値引き(1㎡あたり税込み15円)が反映されております。

この結果、1か月に32㎡(45MJ/㎡)のガスをお使いになる標準家庭で、2024年1月検針分に比較して、52円(消費税込)ガス料金が上がります。

供給約款料金表					(消費税込)
	1か月のご使用量	基本料金 (円/月)	単位料金 (円/㎡)		基準単位料金 (円/㎡)
			2024年2月適用 単位料金(円/㎡)	2024年1月適用 単位料金(円/㎡)	
料金表A	0㎡から20㎡まで	814	194.07	192.44	160.00
料金表B	20㎡をこえ50㎡まで	1,329	168.27	166.64	134.20
料金表C	50㎡をこえ200㎡まで	1,632	162.22	160.59	128.15
料金表D	200㎡をこえ450㎡まで	3,214	154.32	152.69	120.25
料金表E	450㎡をこえ750㎡まで	5,402	149.44	147.81	115.37
料金表F	750㎡をこえるもの	10,847	142.20	140.57	108.13

※2023年10月適用単位料金より1㎡につき税込15円の政府支援を踏まえた値引きがされております。

詳細は資源エネルギー庁「電気・ガス料金激変緩和対策特設サイト」をご覧ください。
(<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp/general/>)

標準家庭における影響				(消費税込)
1か月のご使用量	2024年2月検針分の料金	2024年1月検針分の料金	影 響 額	
32㎡ (45MJ/㎡)	6,713円	6,661円	52円	

原料価格の変動

基準平均原料価格 (a)	34,700 円/t
2023年9月～2023年11月の 平均原料価格 (b)	91,920 円/t
LNG価格	90,700 円/t
LPG価格	93,100 円/t
差 額 (b-a)	57,220 円/t

[参 考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m³当たりの単価)を調整する制度です。
- ・ 基準平均原料価格(34,700円/t)と「平均原料価格(料金適用月の5か月前から3か月前の3か月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³当たり0.0858円(0.078円に1.10(消費税)を乗じた値)単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計実績によります。□

単位料金調整額の算定方法

- ・ 平均原料価格の算定

	LNG平均価格	(貿易統計ベース)	90,700 円/t	×	0.9608
+	LPG平均価格	(貿易統計ベース)	93,100 円/t	×	0.0513
			91,920.590 円		
			↓ (10円未満四捨五入)		
			91,920 円/t		

- ・ 原料価格変動額の算定(基準平均原料価格 34,700円/tからの変動額)

$$91,920 \text{ 円/t} - 34,700 \text{ 円/t} = 57,220 \text{ 円/t}$$

$$\downarrow \text{ (100円未満切り捨て)}$$

$$57,200 \text{ 円/t}$$

- ・ 単位料金調整額(1m³当たり調整額)の算定

$$\text{単位料金調整額} = 57,200 \text{ 円/t} \div 100 \text{ 円} \times 0.0858 = 49.0776 \text{ 円}$$

$$\downarrow \text{ (小数点第3位以下切り捨て)}$$

$$49.07 \text{ 円}$$

$$\text{激変緩和対策} \quad 1\text{m}^3\text{あたり} \quad -15\text{円を反映} \quad = \quad 34.07 \text{ 円}$$